

ラテン語「Chionanthous」は、何の木？

クイズです！ラテン語「Chionanthous」は、土岐市になじみの深い、ある木を表しますが、それはいったい何の木でしょう？

- 【ヒント1】ラテン語で「Chion」は「雪」、「anthous」は「花」という意味です。
 【ヒント2】泉町の白山神社境内にあるこの木は、天然記念物に指定されています。
 【ヒント3】この木は、「土岐市の木」です。
 【ヒント4】「ナンジャモンジャノキ」とも呼ばれます。

もうお分かりですか？ 答えは「ヒトツバタゴ」です。モクセイ科のヒトツバタゴは、同科のタゴに似ていますが、タゴが双子葉類であるのに対し単子葉類であるため、「一つ葉タゴ」と名前が付きまして。「ナンジャモンジャノキ」とも言われる由来は、明治時代に東京の青山練兵場の道路沿いに名前の分からない木があり、「何の木じゃ？」と言われるうちに「なんじゃもんじゃ」となったという説が有力です。市の木でもあるヒトツバタゴは当園にもあります。ぜひお出掛けください。



森の日記

湿地帯に手作りの橋が完成

3月22日(金)

園内の施設・遊具などの安全管理をしたり、季節の花や野鳥、昆虫の情報収集をしたりするために、毎日巡回しています。

下の写真は、湿地帯に架けられた手作りの橋です。皆さんが遊歩道を安全に歩行できるよう架け直しました。

今後も、皆さんから憩いの場として親しんでもらえるように取り組んでいきます。



5月

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)
 5月26日(日) 午前9時~11時30分
 春の野鳥を観察します。

6月

ミツバチ教室 (要申込 定員150名)
 6月16日(日) 午前9時~11時30分
 ミツバチの蜂蜜搾りを体験し、その蜂蜜を味わいます。ウッディードーム内で行います。
 バードウォッチング (自由参加、雨天中止)
 6月23日(日) 午前9時~11時30分
 初夏の野鳥を観察します。

ネイチャーセンターでは、双眼鏡や野鳥図鑑を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。

